

PROJECT 01 国際都市HIROSHIMAの顔となる都市機能誘導 新たな回遊・交流拠点の形成

現状で想定されるアクション・プラン

- 紙屋町交差点に面するエリアについては、文化・商業・交通（モビリティ含む）がシームレス的に接続しながら、都心エリアの新たな顔となる回遊や交流の拠点形成を目指す。
- 都心部においては、今後想定される開発を機に、国内外の多世代の来街者や就業者が利用しやすいサービスや機能導入を誘導するなど、都心部の交流人口の増加を目指す。
- 開口部においては、オープンスペースや商業施設などの賑わいや交流を生む施設を目指す。



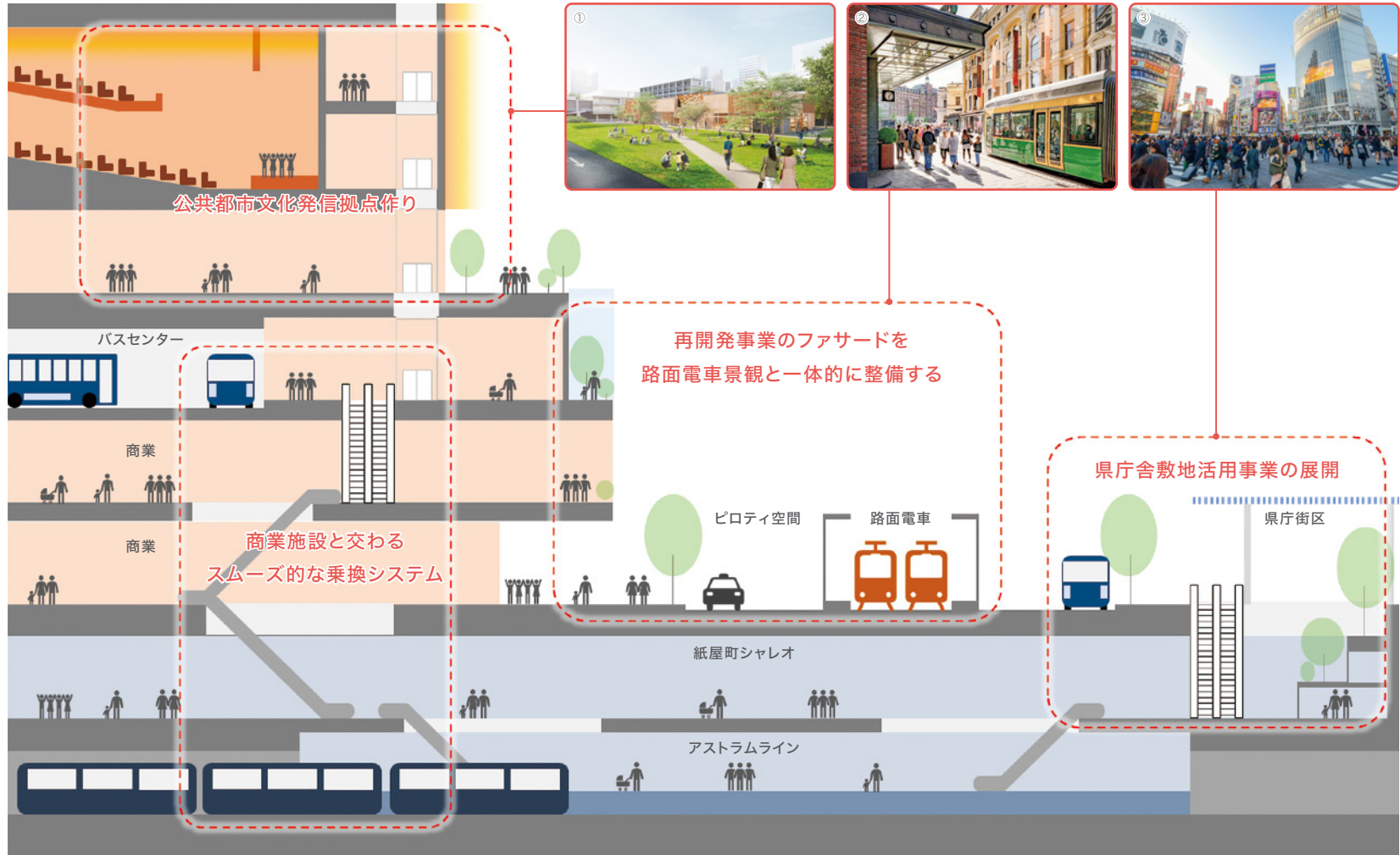
紙屋町交差点の様子

メインプレーヤー・推進スケジュール

	短期	中期	長期
民間	<ul style="list-style-type: none"> 既存エリマネ団体や再開発事業者などとの連携 現状把握・課題抽出（人流・交通量調査アンケートなど） 	<ul style="list-style-type: none"> ガイドラインに基づく、計画されている再開発事業との連携 社会実験実施 	<ul style="list-style-type: none"> 再開発事業・リニューアルの推進 新交通ネットワークの整備
中間	<ul style="list-style-type: none"> ガイドラインの策定 上位関連計画との整合（道路整備・公共施設整備（県庁舎敷地活用の方向性検討）） 	<ul style="list-style-type: none"> 相生通りトランジットパークの動きと連動した歩道空間などを活用した賑わい創出の社会実験 公共施設整備方針の策定 	<ul style="list-style-type: none"> 民間活力を活用した、公共施設整備・有効活用 道路空間の整備 公共施設整備
行政			

◎各プロジェクトについては、官民連携で推進するべく検討していく

目指す将来イメージ



PROJECT 02 相生通りトランジットパーク※ 実施に向けた取り組み

※自動車の乗り入れを制限し、公共交通のみが通行できる歩行者中心の公園のようなみち空間。

現状で想定されるアクション・プラン

- 既存エリマネ団体との連携により推進。紙屋町交差点のスクランブル交差点化など。
- 計画推進に向けた都心部への車両抑制や駐車場出入口の集約などの方策検討。
- 段階整備など実現性のある事業計画としての整理、行政計画への位置づけ。
- 多くの来街者が集まれる人中心の広場空間や路面電車の待合滞留空間の創出。



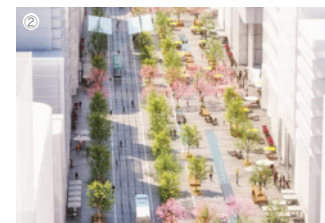
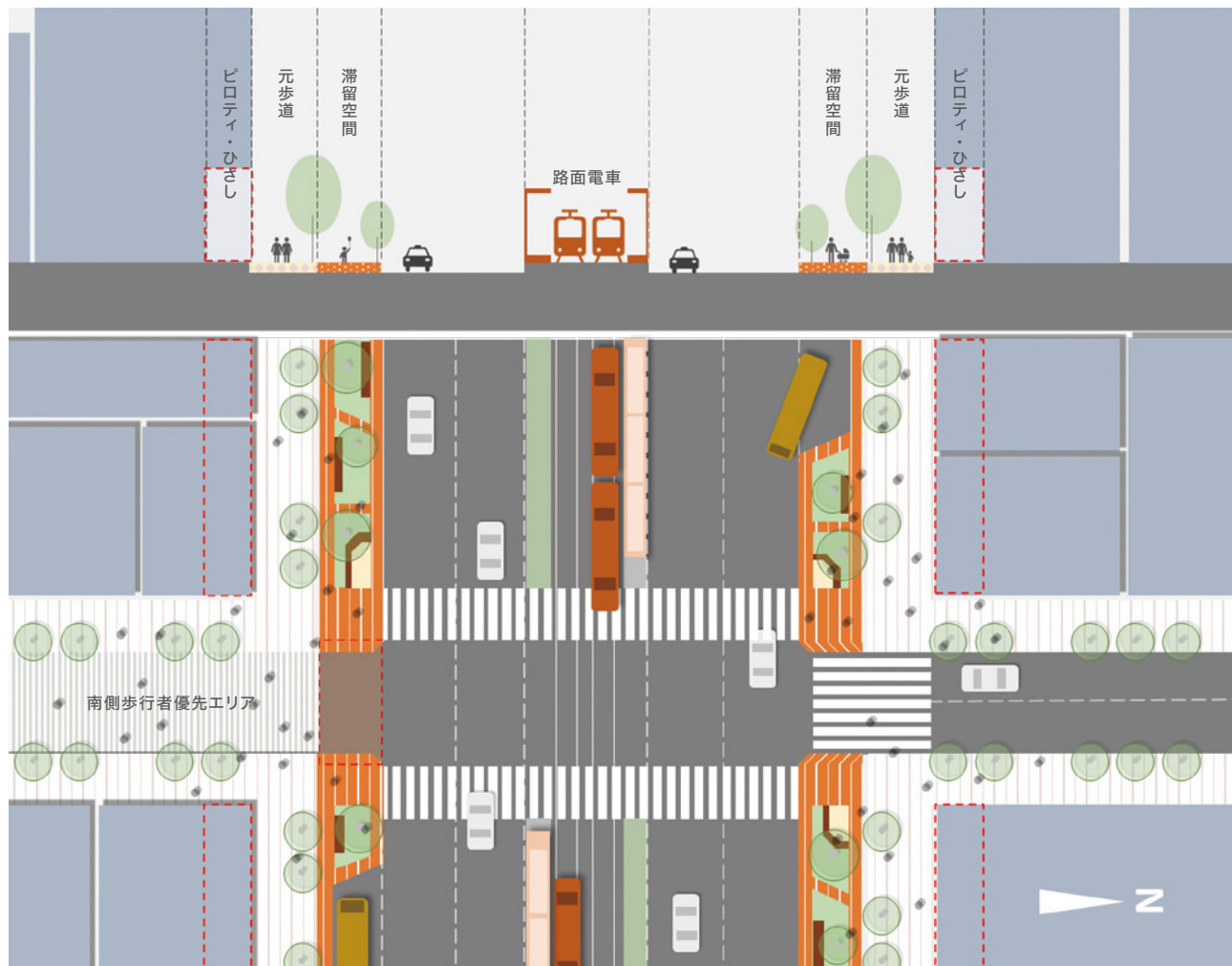
相生通りの様子

メインプレイヤー・推進スケジュール

	短期	中期	長期
民間	<ul style="list-style-type: none"> • 既存エリマネ団体との連携 • トランジットパークの整備促進に向けた雰囲気づくり（市民からの需要喚起創出） • 交通量調査などの実施 	<ul style="list-style-type: none"> • 社会実験の実施による効果影響検証（車線規制、車線規制による交通量影響調査、歩道拡幅などによる滞留空間の創出・活用方法の検討） • 沿道地権者の意識情勢、関係者調整 	<ul style="list-style-type: none"> • 車両抑制の段階的な本格運用 • 歩道拡幅により創出した広場空間の活用
中間	<ul style="list-style-type: none"> • 上位関連計画との整合（周辺を含めた道路整備の方向性検討） 	<ul style="list-style-type: none"> • 行政計画への位置づけ（ガイドラインなど） 	<ul style="list-style-type: none"> • 歩道拡幅などによる広場空間整備（路面電車の電停再整備含む）
行政			

◎各プロジェクトについては、官民連携で推進するべく検討していく

目指す将来イメージ

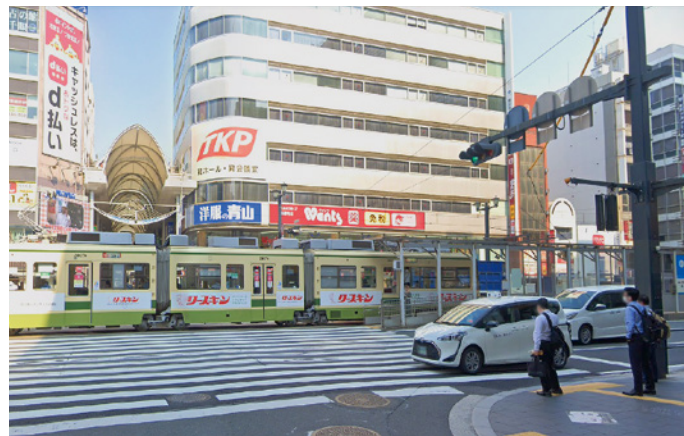


①富山市街地を走るLRTの様子 ②③
相生通りトランジットパークイメージ

03 本通商店街と交通拠点の つながりを強化する地下街接続

現状で想定されるアクション・プラン

- 計画されている再開発事業などを活用して、本通り商店街と鯉城通りの交差点にサンクソンの広場整備を誘導し、地上ネットワークと地下街との接続を強化する。
- 動線の結節点に広場空間を設けることで、休憩スペースや待ち合わせ空間を創出。
- 紙屋町交差点との回遊性を高めることで、商店街エリアへのバリアフリー動線を整備。

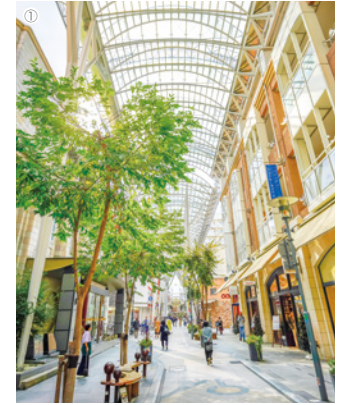
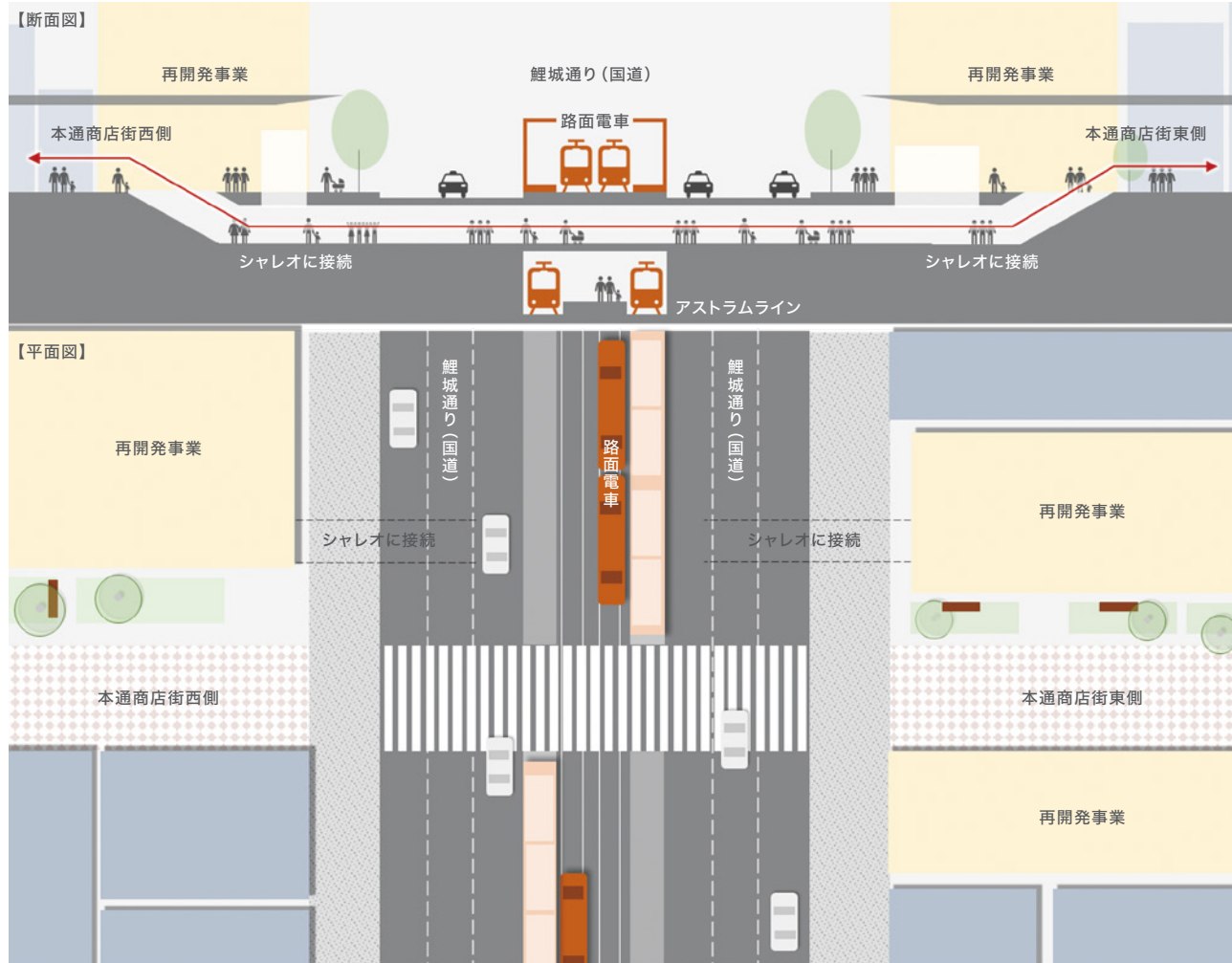


本通商店街東側

メインプレイヤー・推進スケジュール

	短期	中期	長期
民間	<ul style="list-style-type: none">• 既存エリマネ団体や再開発事業者などとの連携• 現状把握・課題抽出（人流・交通量調査アンケートなど）	<ul style="list-style-type: none">• ガイドラインに基づく、計画されている再開発事業との連携による事業推進• 周辺商店街との連携	<ul style="list-style-type: none">• 再開発事業による、ノード的公共空間・広場の整備• 整備された広場（公開空地）の活用、維持管理
中間	<ul style="list-style-type: none">• 上位関連計画との整合（道路整備・公共施設整備）• ガイドラインの策定	<ul style="list-style-type: none">• 再開発事業者との連携	<ul style="list-style-type: none">• 整備された広場（公開空地）の活用に向けた規制緩和
行政			

目指す将来イメージ



①高松丸亀商店街C街区ノード公共空間整備の様子 ②③広島・紙屋町サンモール周辺再開発ビル内の施設イメージ

PROJECT 04 歩行者優先エリア内及び平和大通りへの 回遊を高める南北動線強化 (都心部への車両抑制)

現状で想定されるアクション・プラン

- 既存エリマネ団体との連携により推進 (デザイナー・アーティストに向ける面白い交流・展示空間を配置、スタートアップ企業などを誘致できる豊かな小規模働き空間を提供など)。
- 滞留空間や賑わい施設を誘導し、舗装改装・車両抑制誘導などで、段階的に歩行者優先から歩行者専用エリアとするなど、都心部と平和大通りの回遊性向上を目指す。
- 交通シミュレーションを踏まえ、外周路外駐車場・集約駐車場配置の検討を進める。



並木通りの様子

メインプレーヤー・推進スケジュール

	短期	中期	長期
民間		<ul style="list-style-type: none">• 店舗の軒先・コインパーキングなど民間敷地を活用した社会実験の継続• 交通量を抑制する社会実験の実施 (影響調査)	<ul style="list-style-type: none">• スタートアップ企業の誘致・エリア内への点在• 優先エリア内の交通量抑制
中間	<ul style="list-style-type: none">• 既存エリマネ団体との連携• キッチンカーの出店などによる、スタートアップ促進のための社会実験実施• 集約駐車場配置の検討	<ul style="list-style-type: none">• 行政計画への位置づけ(ガイドラインの策定、交通規制など)	<ul style="list-style-type: none">• 石畳など歩行空間整備• 駐車場の整備計画などの見直し(集約駐車場配置の検討など)
行政	<ul style="list-style-type: none">• 現状把握・課題抽出(人流・交通量調査、利用者アンケート、交通シミュレーションなど)		

目指す将来イメージ



①歩行者滞留空間創出 ②歩行者専用による賑わい空間の形成

PROJECT 05 中央公園—平和記念公園—平和大通り—^{ウォーターフロント}WF の連続した緑あふれる賑わい空間の形成

現状で想定されるアクション・プラン

- 平和大通りの Park-PFI などを活用した、都心と川沿いのウォーターフロントをつなぐ賑わいあるオープンスペースの形成。
- 平和大通り周辺へのアクセス性を高める新たな交通機能の検討。
- 市民の QOL を高める質の高い公共空間の創出の推進（ひろしまゲートパーク、スタジアムパークに続く第3弾）。



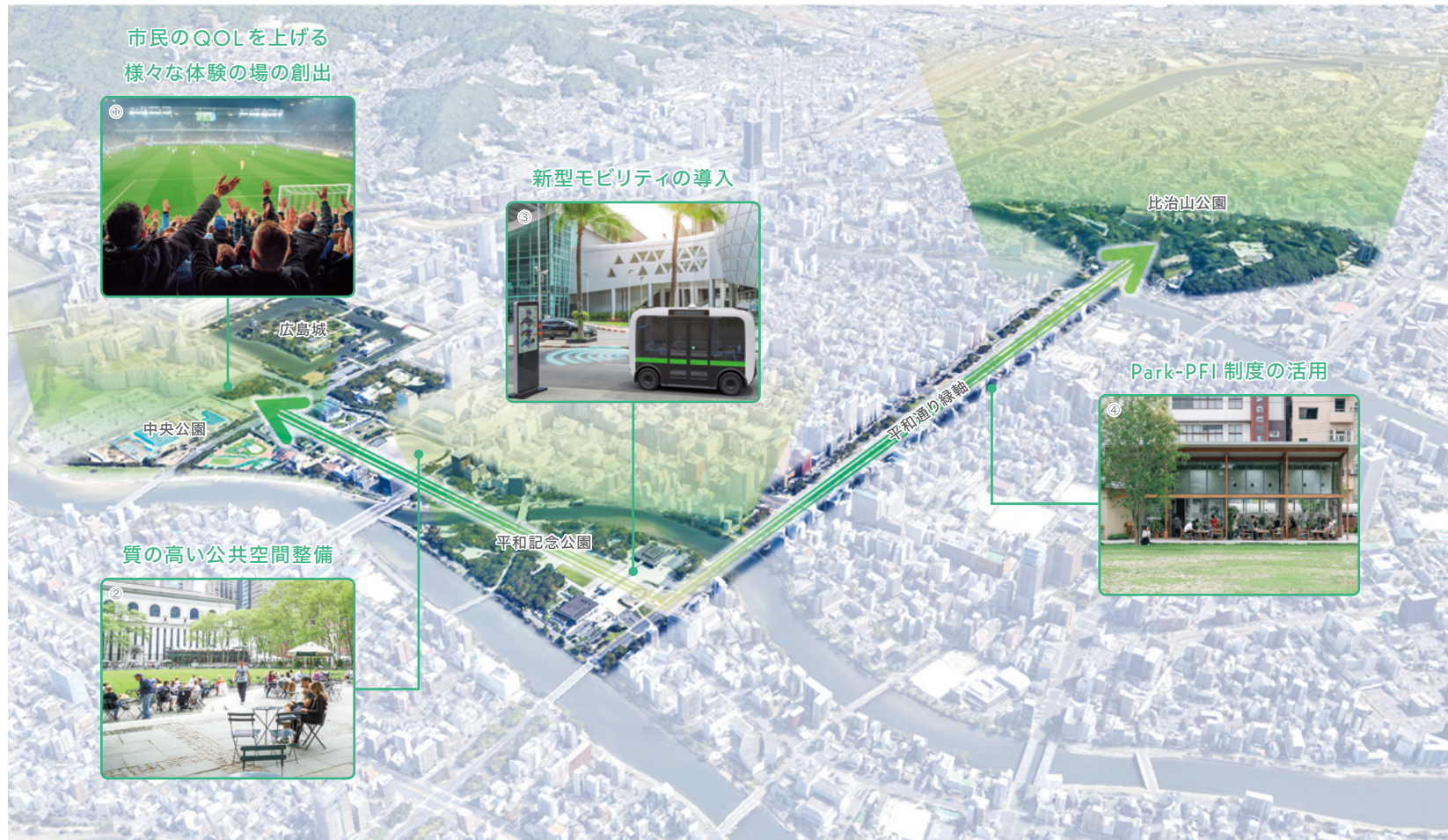
おりづるタワーから見た平和記念公園一体の様子

メインプレーヤー・推進スケジュール

	短期	中期	長期
民間	<ul style="list-style-type: none"> • 平和を感じる（発信できる）動線づくりに向けた既存のコンテンツなどの活用 	<ul style="list-style-type: none"> • 社会実験などによる空間を活用した、憩い・滞留空間の整備 	<ul style="list-style-type: none"> • 新型モビリティの導入
中間	<ul style="list-style-type: none"> • 平和大通り内の機能配分整理（上位関連計画との整合） 	<ul style="list-style-type: none"> • 並木通りや比治山公園などの接続強化に向けたネットワーク化の検討（緑道空間・街路樹などの整備方針） 	<ul style="list-style-type: none"> • Park-PFI や沿道の民間再開発などを活用した憩い・滞留空間整備（公共空間整備） • 道路空間・河川空間の整備、ネットワーク化
行政			

◎各プロジェクトについては、官民連携で推進するべく検討していく

目指す将来イメージ



06 広島駅周辺の広域玄関口としての顔づくり

現状で想定されるアクション・プラン

- 瀬戸内エリアと国内外の都市をつなぐゲートウェイとしての機能強化（2025年春の開業に向けたPR戦略など）。
- 既存エリマネ団体との連携により推進。
- 多様な公共交通システムの乗り換えをスムーズに接続（モビリティのハブ機能（多様なモビリティの集合、交通案内所の機能強化））。
- デジタル技術なども活用した、来街者への便利な情報発信。



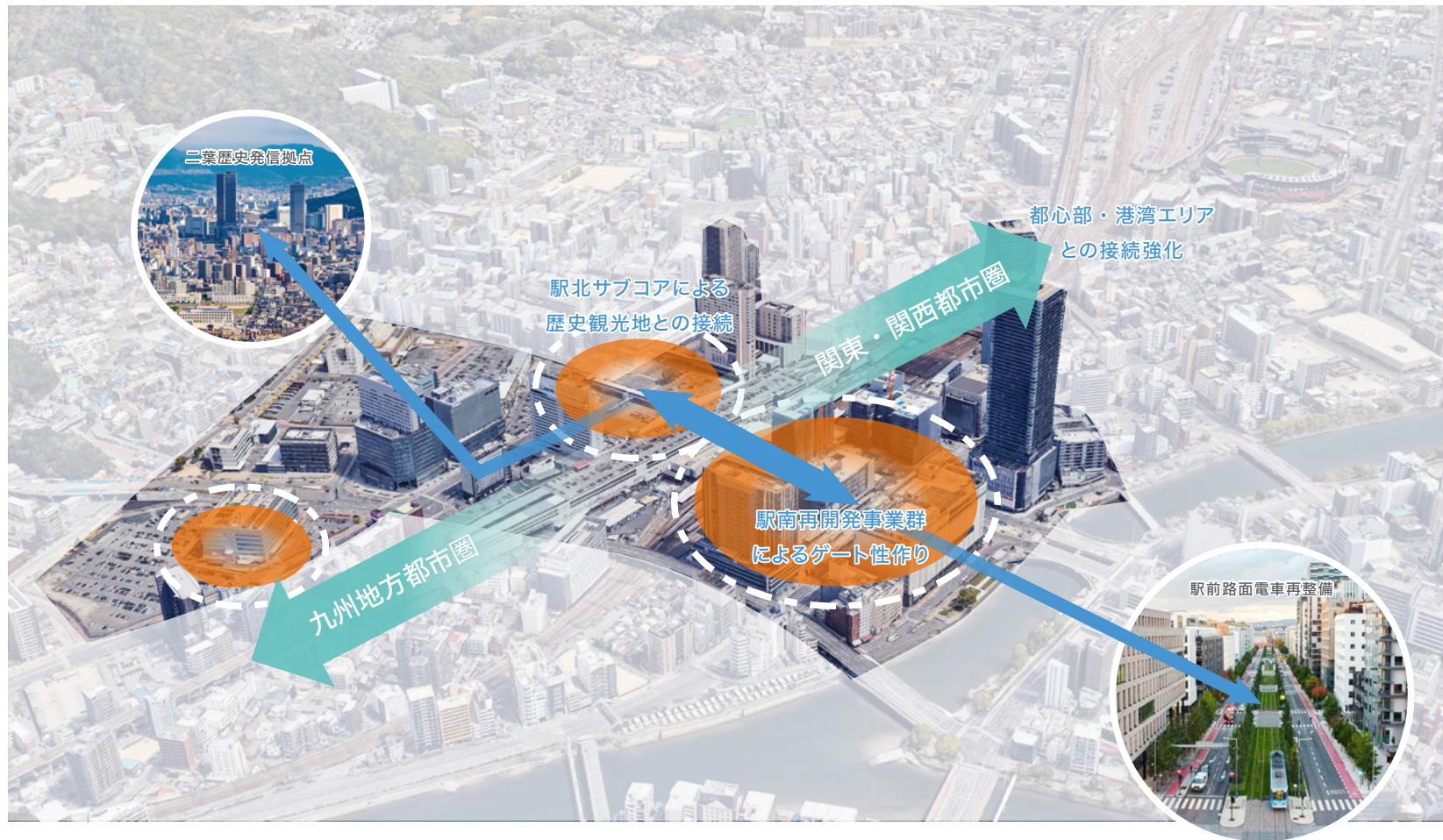
広島駅南口広場再整備イメージパース

メインプレーヤー・推進スケジュール

	短期	中期	長期
民間	<ul style="list-style-type: none"> • 既存の案内所の位置づけ整理 • 案内機能・情報のアップデート • 広島駅周辺及びエキニシのブランディング強化に向けた民間団体との連携 	<ul style="list-style-type: none"> • 多様なモビリティなどの結節点としての機能集約（再開発建物含む） • 駅拠点でのイベントの実施、交通などの情報発信強化（プチコンテンツ体験など） 	<ul style="list-style-type: none"> • 民間活力による新型モビリティの検討導入
中間		<ul style="list-style-type: none"> • 公共交通拠点としての施設整備、市内外含めた情報発信・PR 	<ul style="list-style-type: none"> • 交通のハブ機能として整備（中距離への交通機能強化） • 新たな交通機関の整備（川など）
行政			

◎各プロジェクトについては、官民連携で推進するべく検討していく

目指す将来イメージ



PROJECT 07 ウォーターフロント周辺の 魅力向上再整備

現状で想定されるアクション・プラン

- 既存エリマネ団体との連携により推進。市民のQOLを高める質の高い公共空間の創出。
- リバーサイドを快適にウォーキングやサイクリングできるような整備の推進。
- 動線の中に休める・留まるノード空間配置（芝生、ベンチ、カフェなどの設置や橋のシンボリック性を利用した、新たな名所をつくるなど）。
- 駅と都心を繋ぐ中間拠点の整備（稲荷大橋付近）など。
- 川の駅・水上バスの導入検討。

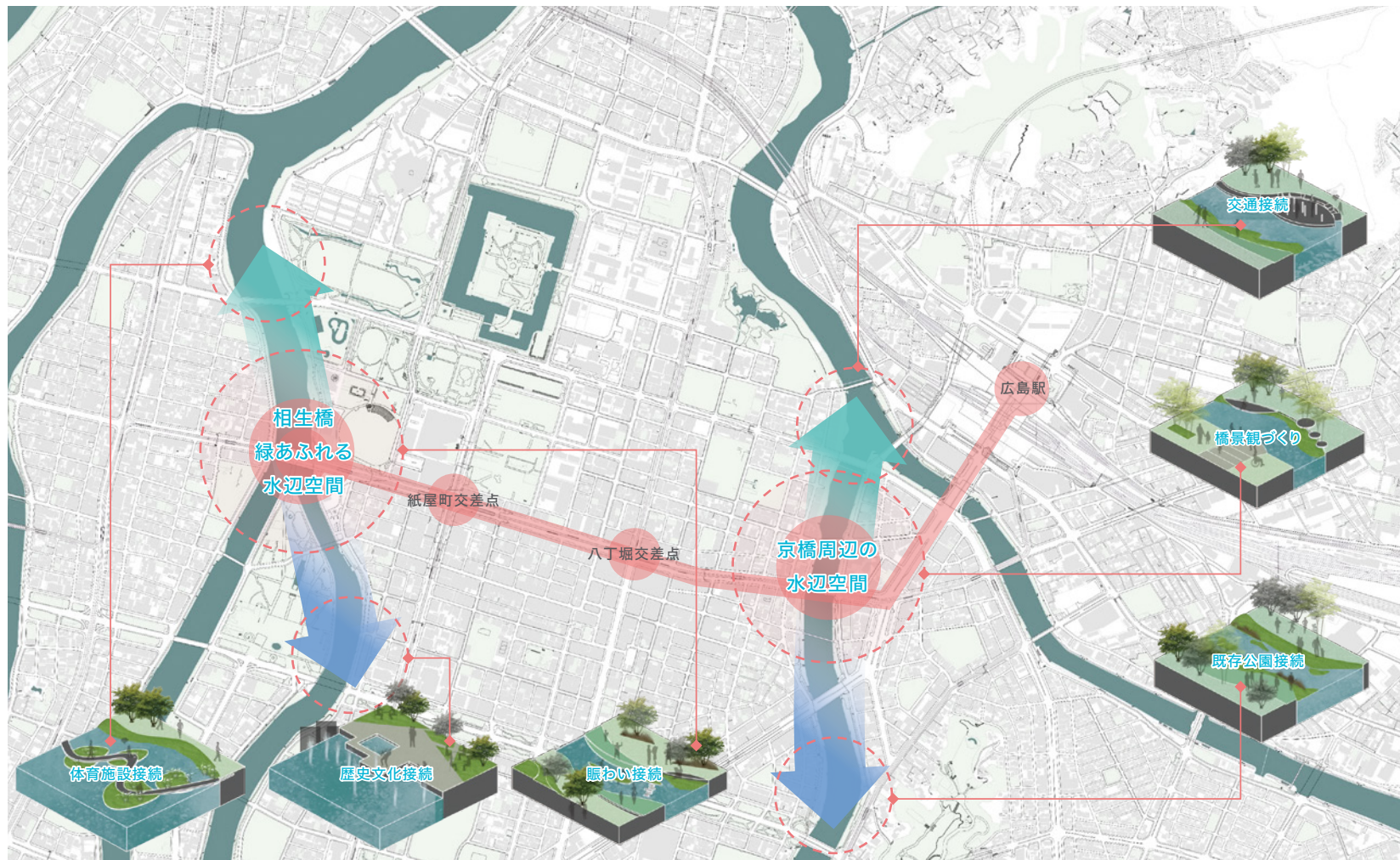


元安川沿いの水辺空間の様子

メインプレーヤー・推進スケジュール

	短期	中期	長期
民間	<ul style="list-style-type: none">• 社会実験などによる河川空間の活用（イベントの開催、キッチンカーの出店など）• 既存エリマネ団体との連携	<ul style="list-style-type: none">• カフェなど、賑わい創出につながる常設店舗整備・運営• ウォーターフロントとしてのブランディング	<ul style="list-style-type: none">• 川の駅などの拠点整備• 水上バスなど川を活用した交通網の整備• 舟運、観光産業など多様な河川の活用
中間	<ul style="list-style-type: none">• 歩きやすい歩行空間のための施設整備（街灯、ベンチ、芝生など）		
行政		<ul style="list-style-type: none">• 河川空間の民間活用に向けた規制緩和	

目指す将来イメージ



08 西国街道のブランディング構築

現状で想定されるアクション・プラン

- 旧西国街道の全体動線のスムーズな接続による、界限性がある交流軸の創出。新しいブランディングによる名所づくり。
- エリアを顕在化させるための道路などの景観整備。
- 沿道の重要な観光スポットをノード空間として整備することによる、回遊動線の魅力度の向上。
- 広島駅前～紙屋町・八丁堀～平和記念公園の回遊性向上（夜を含めた食べて飲んで楽しい街道としての位置づけなど）。
- AR・VRなどの新技術による伝統的な西国街道の演出。

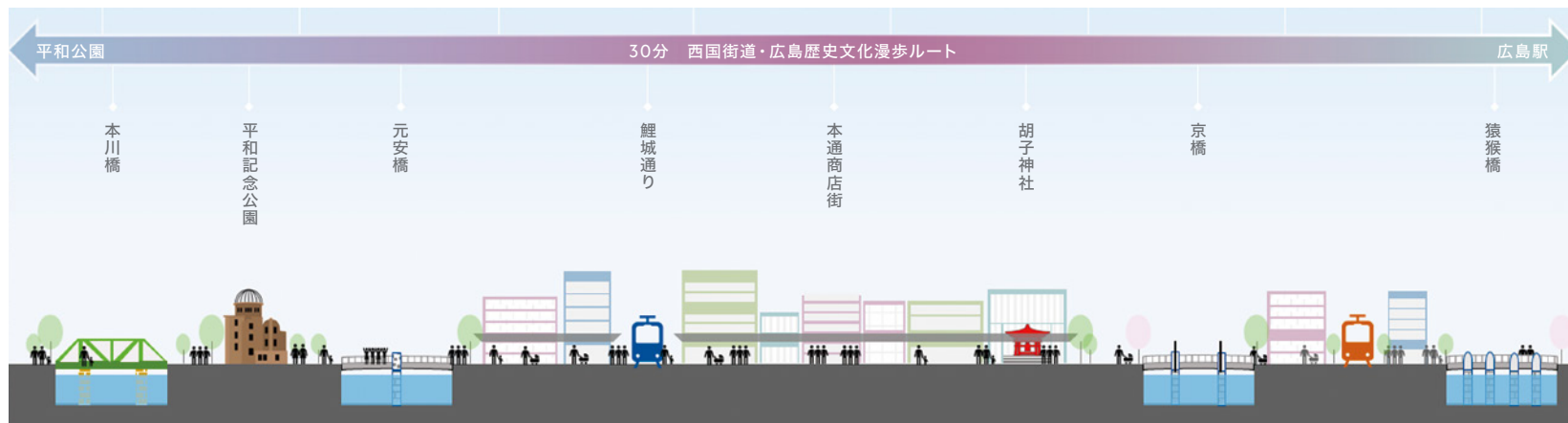


広島城下絵屏風

メインプレーヤー・推進スケジュール

	短期	中期	長期
民間	<ul style="list-style-type: none"> • 既存のエリマネ団体との連携によるイベントなどの実施（スタンプラリーなど） • 情報の整理・発信（案内MAPの作成など） 	<ul style="list-style-type: none"> • 祭りなどの復興 • VR空間などにおける歴史体験の実施（イベントコンテンツの拡充、プロモーション強化） 	<ul style="list-style-type: none"> • 他のエリアと連携した回遊性向上 • 当該エリアに立地する、建物などの景観整備
中間	<ul style="list-style-type: none"> • デジタルで情報発信するための準備（情報素材の収集、整理、デジタル化） 		
行政	<ul style="list-style-type: none"> • 上位関連計画との整合 	<ul style="list-style-type: none"> • 道路や景観に関するガイドライン策定 • 公共空間における案内板などの整備 	<ul style="list-style-type: none"> • ガイドラインに基づく道路などの景観整備（該当区間・資源が分かるように）

目指す将来イメージ



【出典】 表面：広島城蔵 裏面：① <https://flickr.com/photos/96022211@N03/30948683746> ② M-H- stock.adobe.com ⑤ <https://commons.wikimedia.org/wiki/File:広島本通商店街01.jpg>

PROJECT 09 北側官庁・教育・都心居住をセールスポイントとした 高級住宅エリアへの繋がり強化

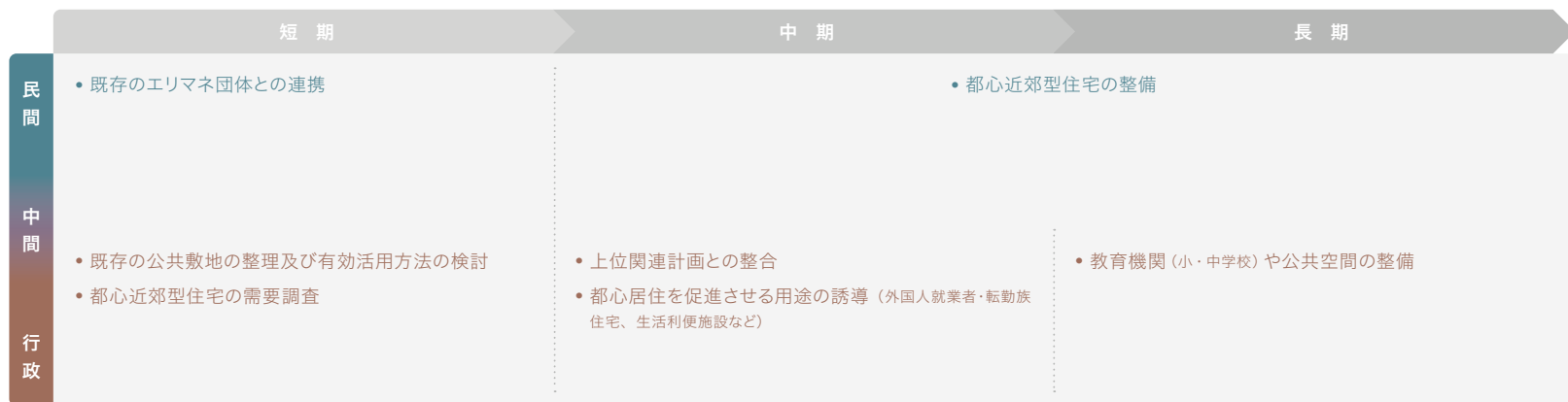
現状で想定されるアクション・プラン

- 官庁など公共敷地の有効活用の検討。北側の高級住宅街とのつながり。
- 静かな環境に位置しながら、駅や都心の賑わいエリアにも優れたアクセス性を持つ都心近接型の新たな住宅エリアの検討（例えば、外国人就業者や転勤族向けなど）。
- 居住者の増加を推進する場合は小・中学校などの教育機関の整備など。



上八丁堀周辺の様子

メインプレーヤー・推進スケジュール



◎各プロジェクトについては、官民連携で推進するべく検討していく

PROJECT 10 循環電気観光バス・小型スマートモビリティなど 環境にやさしい次世代交通による回遊性向上

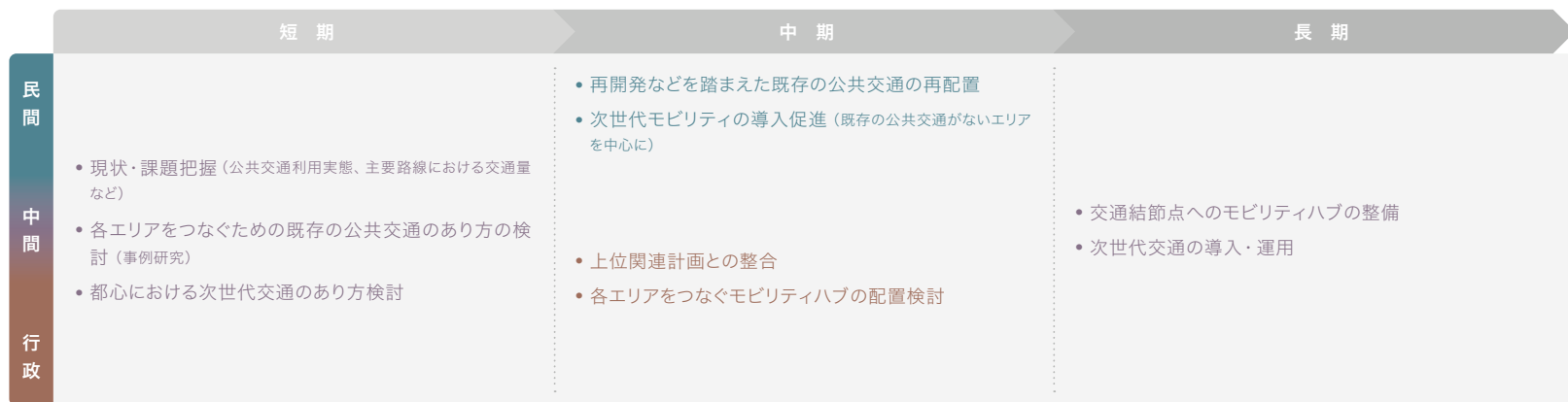
現状で想定されるアクション・プラン

- 都心部への車両流入を減少させるための代替機能としての次世代交通の検討。
- 既存の交通システムが近接しないエリアへのアクセス性を高めるモビリティの導入。
- 建替えを契機として、都心エリアの各所にモビリティハブの設置を誘導。
- 新たな水上交通の導入や港エリアとのアクセス性強化の検討。

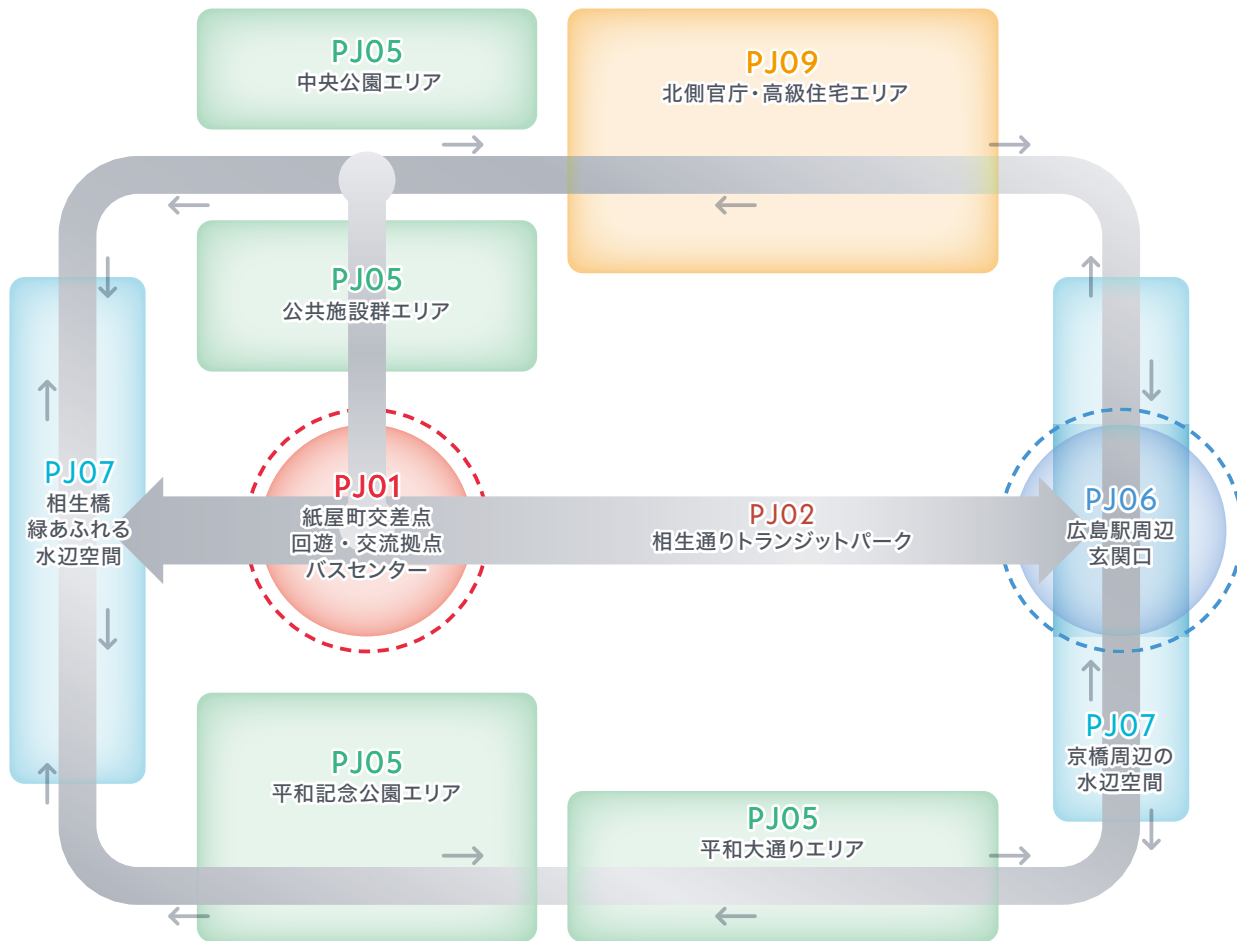


相生通りの様子

メインプレーヤー・推進スケジュール



目指す将来イメージ



①次世代モビリティの導入 ②水上公共交通ラインの導入 ③環境にやさしい新エネルギー交通機関

環境・防災の観点を踏まえた スマートコミュニティの実現

現状で想定されるアクション・プラン

- 将来像や建替えの指針を定めたマスタープランの作成（スマートコミュニティ・分散型エネルギー）。
- エネルギーシステムの強靱化、脱炭素化に資する分散型エネルギーシステムの構築（建物単体・個別敷地ではなく、街区を跨いだ連携）。
- スマートコミュニティ促進のための補助金など活用検討マニュアルの作成。

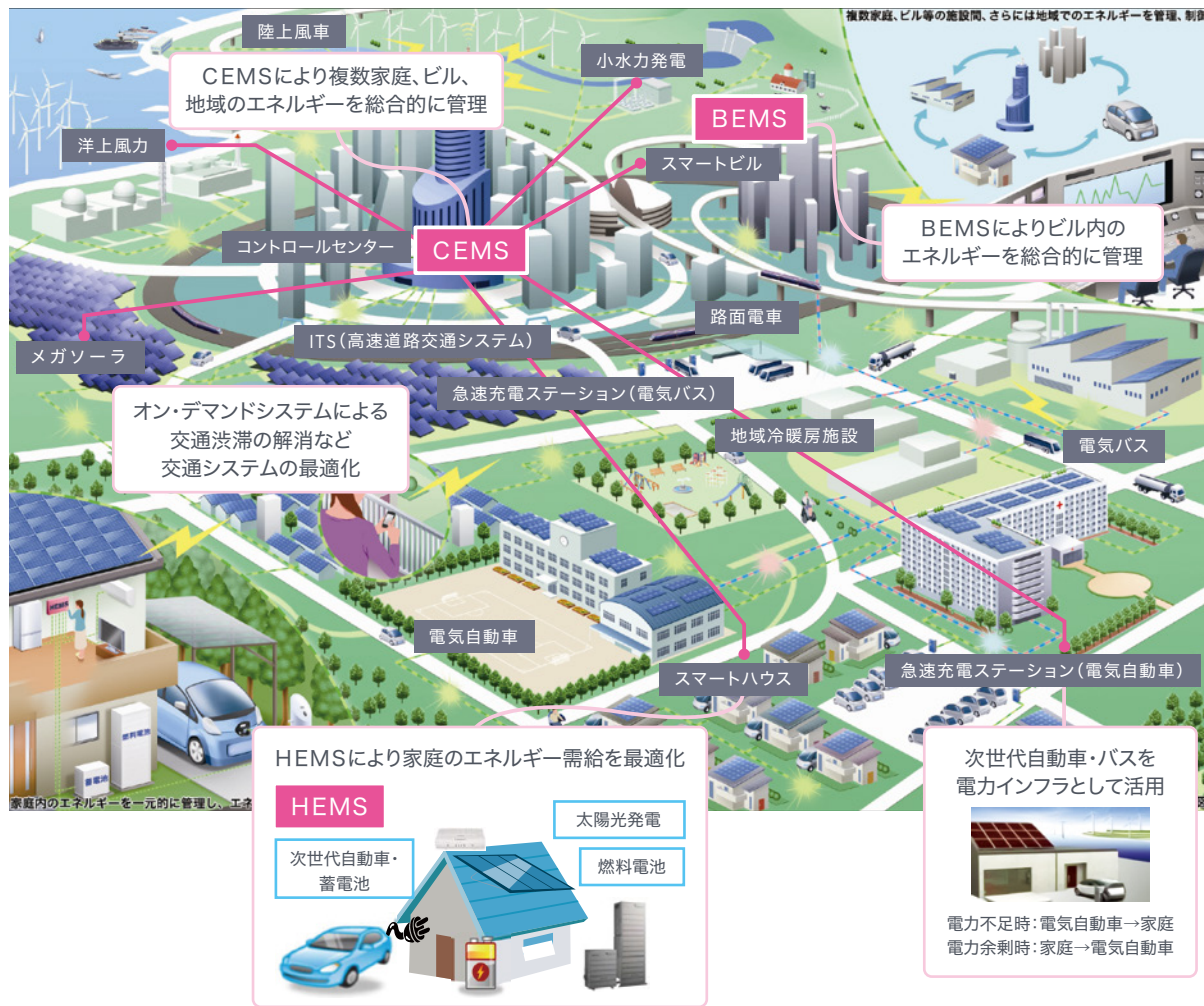


広島都心から見る瀬戸内海の様子

メインプレーヤー・推進スケジュール

	短期	中期	長期
民間	<ul style="list-style-type: none">• マスタープラン作成• 既存のエリマネ団体との連携• 関係事業者・関心の高い民間企業との連携	<ul style="list-style-type: none">• 分散型エネルギーシステムに向けた検討• 都市OS、3D・メタパースの活用• 検討マニュアル作成（補助金の活用方策など）	<ul style="list-style-type: none">• 分散型エネルギーシステムの再開発事業などとの連携
中間	<ul style="list-style-type: none">• 勉強会、検討会の発足• 関連施策との整合	<ul style="list-style-type: none">• 関連施策との整合• 分散型エネルギーシステム誘導に対する働きかけ	
行政			

目指す将来イメージ

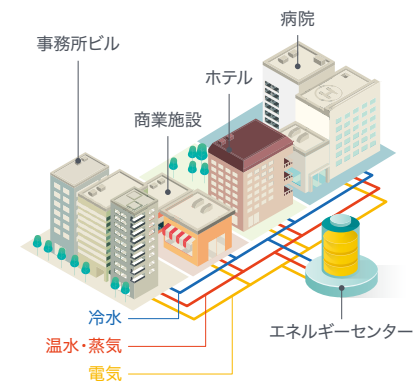


スマートコミュニティのしくみ

家庭やビル、交通システムをITネットワークでつなげ、地域でエネルギーを有効活用する

分散型エネルギーシステム

熱源設備を1箇所に集約し、近接して立地する複数の建物間を結ぶ地域導管、自営線などのエネルギーネットワークを形成することで、エネルギーを面的に利用



12 都市OS・デジタルインフラの構築

現状で想定されるアクション・プラン

- 行政と連携した都市OSの検討。
- 個別システムをアジャイル開発で実証実験（観光など）。
- 鳥しょ部や山間部でのリモートワークなど SETOUCHI の自由なワークスタイルを支えるデジタルインフラの整備。
- 空間情報や人流データ、点字ブロックデータなどを活用したバリアフリー推進によるウォーカブルなまちの実現。
- マスタープランの作成（スマートシティ）。
- 3D/メタバースを活用したウォーカブルなまちづくり、にぎわい向上。



デジタルトランスフォーメーションのイメージ図

メインプレーヤー・推進スケジュール

	短期	中期	長期
民間	<ul style="list-style-type: none"> • マスタープランの作成 • 既存のエリマネ団体との連携 • 協議会への参画 • 課題の洗い出し、事例収集など実施 	<ul style="list-style-type: none"> • システムを活用した実証実験などとの連動 • 実証実験として、アジャイル的に観光などに係る小規模システムを開発 	<ul style="list-style-type: none"> • システムを活用した事業推進
中間		<ul style="list-style-type: none"> • 基盤システムの構築、運用 	<ul style="list-style-type: none"> • 基盤システムのブラッシュアップ
行政	<ul style="list-style-type: none"> • 都市OSに係る協議会の設置 • 鳥しょ部や山間部へのデジタルインフラ整備に係る需要調査 	<ul style="list-style-type: none"> • 鳥しょ部や山間部へのデジタルインフラの整備に向けた計画策定 	<ul style="list-style-type: none"> • 鳥しょ部や山間部へのデジタルインフラの整備

PROJECT 13 観光都市「ひろしま」を牽引するブランド構築 ～国内外の観光客に選ばれるコンテンツ作りと発信強化～

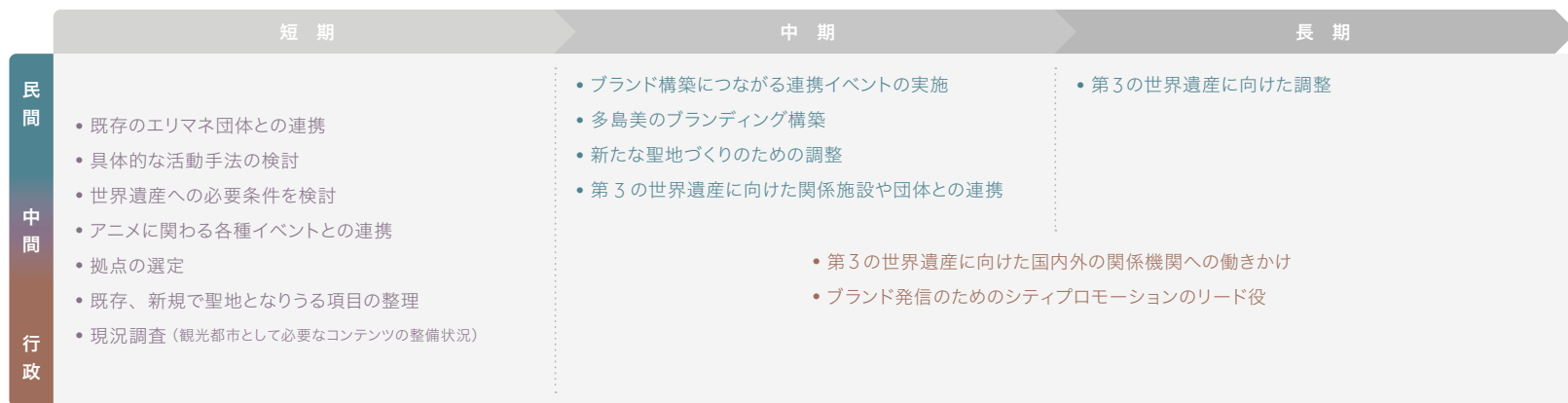
現状で想定されるアクション・プラン

- ・「瀬戸内の多島美」ブランド構築（第3の世界遺産に向けた検討）。
- ・アニメや映画の聖地巡礼などコンテンツツーリズムの促進（アニメーションフェスティバル、まんが図書館、広島版トキワ荘など）。
- ・滞在機会・時間を増加させるための拠点づくり・各種イベントとのタイアップ。
- ・多言語化など外国人観光客用ビジネスに対応した施設コンテンツの充実。
- ・ひろしまブランドを発信するシティプロモーションの推進。

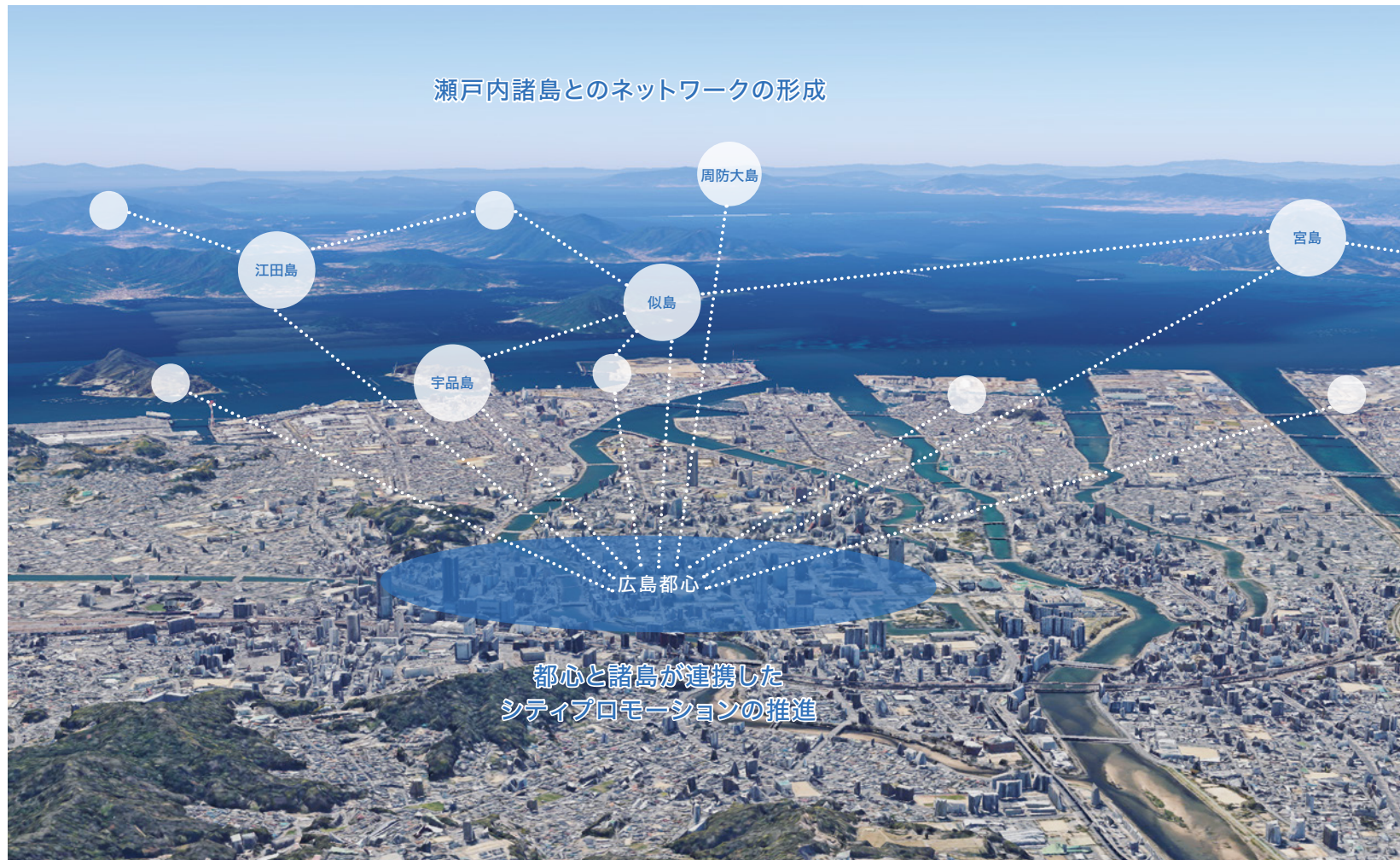


瀬戸内海の島々の様子

メインプレーヤー・推進スケジュール



目指す将来イメージ



14 都心での多様な「体験」ができる機会の提供 ～若者や外国人観光客に選ばれるまち～

現状で想定されるアクション・プラン

- ・ 広島の魅力を経験することのできる機会や空間の創出（イベント、スポーツイベントの開催）。
- ・ 大規模イベント（1万人規模）や会議が実施できる施設・会場の整備。
- ・ 祭りや地域の催事など既存イベントの継承及び新規イベントの誘致。
- ・ 周辺地域への周遊を生むための、観光アプリやSNSなどによるリアルタイム情報の発信。
- ・ まちなか空間でイベントができる場づくり（公開空地など）、多様な食を活用した環境づくり（食べ歩きできる環境整備）など。
- ・ 若者が行きたいと思うおしゃれなまちの整備及びコンテンツの提供（e スポーツ大会、アーバンスポーツ大会、オープンカフェなどの実施）。



相生通りで行われた道路を活用した社会実験の様子

メインプレーヤー・推進スケジュール

	短期	中期	長期
民間	<ul style="list-style-type: none">・ 既存のエリマネ団体との連携・ イベントカレンダー、イベントマップなどの作成（情報の一元化）	<ul style="list-style-type: none">・ ガイドラインに基づく、再開発事業者との連携による事業推進・ まちあるきスポット及び必要設備（ベンチ、キッチンカーなど）の整備	<ul style="list-style-type: none">・ 大規模イベント会場の整備・ 瀬戸内エリア No.1 イベントの誘致・ 観光アプリ周知に向けた働きかけ
中間	<ul style="list-style-type: none">・ 新規イベントの開催に向けた関係者との調整・ スポーツスタジアムと連携した周遊促進検討	<ul style="list-style-type: none">・ まちなかを体験できるイベントの社会実験・ リアルタイム観光アプリの実装開始	
行政	<ul style="list-style-type: none">・ 既存の観光アプリの活用可能性検討	<ul style="list-style-type: none">・ 公開空地・まちなか広場などの活用について規制緩和・ 食べ歩きイベントと連携した、食の情報発信	

目指す将来イメージ



15 「住む」・「働く」・「学ぶ」が充実した 都心での暮らし環境の整備

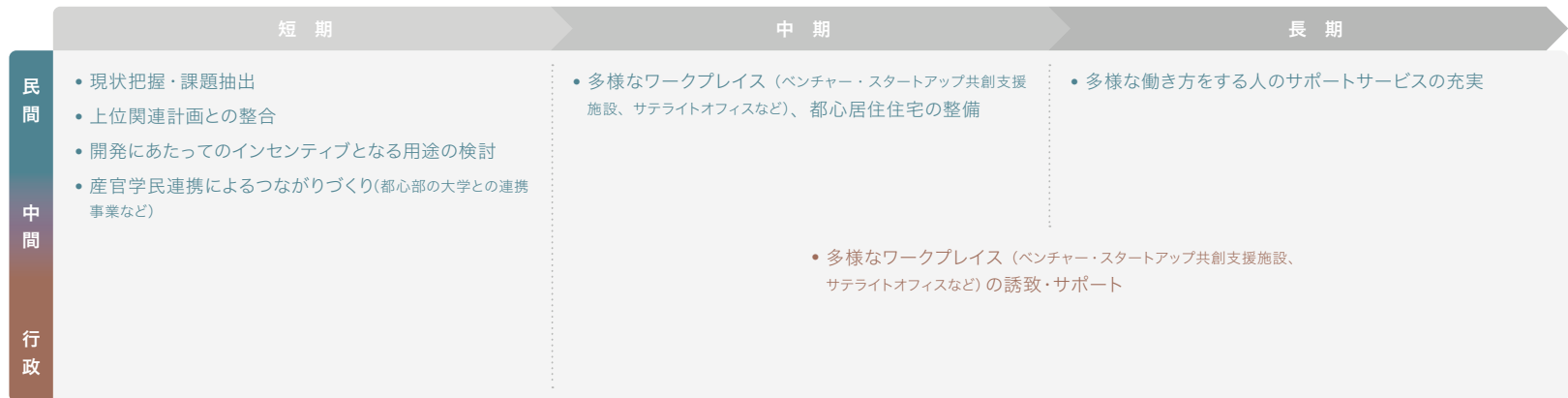
現状で想定されるアクション・プラン

- 子育て世代、共働き世帯、単身世帯など多彩な人材を呼び込む都心居住機能の拡充（分譲マンションの他、賃貸住宅やサービスアパートメント）。
- 多様な働き方をサポートするハード・ソフトの拡充（必要機能の誘致）。
- 都心全体での学びのキャンパス化（大学機能の復活、学生と企業のコラボレーション機能拡充）。
- 都心ならではのミクスドユースの促進（都心住宅・大学・にぎわい用途・オフィス・文化施設・自然）。



広島大学東千田キャンパスの様子

メインプレーヤー・推進スケジュール



目指す将来イメージ

多様な働き方が可能な 環境サポート

- 多様なワークプレイスの誘導 (高機能オフィス、シェアオフィス、ベンチャー支援など)
- 開発時のインセンティブの付与

働く



住む

子育て世代、共働き世帯、単身世帯など 多彩な人材を呼び込む都心居住機能

- 多様な働き方をサポートするサービス
- 多様なワークプレイス
- サービスアパートメント



都心
ミクストユースの推進

大学・企業の 協働プロジェクト推進

- 企業とのコラボレーション
- まちなかをフィールドとしたソリューション開発(キャンパス化)

学ぶ

